

目 次

1	サイバー社会の光と影	1
1.1	招かれざるサイバー社会	1
	a. 記憶力の良い商店街	1
	b. 電腦社会をあやつる者	2
	c. 携帯電話で改札 GO	4
1.2	サイバー社会の宙先案内人	5
	a. ローマ人とネット人	5
	b. サイバー空間地図	7
	c. サイバー空間への旅立ち	8
2	アメリカのサイバー社会	11
2.1	ニューミドルマンの活躍	11
	a. 知られざるシリコンアレー	11
	b. 一つの国に二つの価値観	13
	c. ネットマーケティング	13
	d. ニューミドルマンの台頭	15
	e. 携帯電話とテレビ	17

f.	サイバーテロは防御可能か	18
g.	サイバーテロ対策法制	19
h.	アメリカの次なる関心は	21
2.2	古都ボストンに文化あり	21
a.	クリムゾンカラー	21
b.	黒い壁掛け電話	23
c.	落としても戻る	25
d.	スライド&ゴー	26
e.	連邦政府の IC 構想	28
3	ヨーロッパのサイバー社会	31
3.1	統一通貨ユーロと国策電子マネー	31
a.	発行枚数 5500 万超	31
b.	巨大銀行のマーケティング	33
c.	堅いオンライン商店街	35
d.	統合と国策の微妙な関係	37
3.2	電子財布の国際ブランド	39
a.	ショコラとギルドの国	39
b.	CEPS ブランド	40
c.	SSL から SET へ	42
d.	IC カードで安全に	44
3.3	プライバシーの利用と保護	46
a.	大西洋をはさんだ対決	46
b.	個人情報保護の哲学	48
c.	王様特権の追求	50
d.	クレジットカードの新大陸	52
e.	顔の見えないお金	53

f. 中途半端からの脱却	54
g. IC カードにできること	56
4 アジアのサイバー社会	59
4.1 東アジア圏の電腦化	59
a. 海東の盛国伝説	59
b. 資本主義の電子学校	59
c. 手 机 銀 行	60
d. 電 腦 攻 撃	61
e. 電子国家の栄枯盛衰	63
4.2 タッチ&ゴーの本家	64
a. キャッシュでリムジン	64
b. チハチョル改札	66
c. 特急セマウル号	67
d. ハナロカード	68
e. タッチ & ゴー	69
f. 自腹でも使わざる者	70
g. プサンの経験値を海外へ	71
4.3 宝くじが現金を駆逐する	72
a. カード式宝くじ	72
b. 高額当選の代償	74
c. ロト好きの民族性	76
d. S. M. A. P.	76
e. 電子現金化への移行理由	77
4.4 電子政府と民間資本	78
a. 電子政府のスタート	78
b. 財布つき ID カード	79

c.	電子政府マネー	80
d.	コストとセキュリティは高く	81
e.	韓国の信用情報保護法	82
f.	プライバシーとデリカシー	84
g.	民間資本による政府電子化	84
5	日本のサイバー社会	89
5.1	ハイテクマネーのビルシティ	89
a.	ビル通貨 Edy	89
b.	非接触のタッチ感	89
c.	IC カードの長所と弱点	91
d.	チャージ方式に現れる選好	92
e.	短波放送の周波数帯	93
f.	昼休みの待ち行列解消	94
5.2	京都から始まったデビットカード	97
a.	デビットカード全国展開	97
b.	法的セキュリティと人的セキュリティ	99
c.	個人的つながりの認証	101
d.	サイバー交番	105
e.	デビットカードの潜在顧客	106
5.3	つけ払いの慣行とプリペイドの選好	107
a.	プリペイドカード法	107
b.	接触型の ID カード	108
c.	非接触型の多機能マネー	108
d.	価値の置き場所はどこか	109
e.	暗号輸出規制との関係	110
f.	電子財布専用ソフト	111

g. 暗号は電子式武器か	113
5.4 人は電子マネーだけで生活できるか	113
a. スーパーキャッシュとは	114
b. スーパーキャッシュ新宿生活実験	115
c. 一人勝ちの法則	118
d. 1週間で学んだこと	119
e. 快適な生活と予期せぬ事件	122
6 サイバー社会の未来を考察する	125
6.1 カードと携帯電話の競争	125
a. 携帯コンテンツ	125
b. 応仁の乱に富める者あり	126
c. 携帯電話と IC カード	128
d. IC チップの乗り物	128
e. 導入コストで本命を読む	129
6.2 ユーロ通貨と江戸の藩札	132
a. 藩札のようなもの	132
b. 国家単位より拡大	133
c. 国家単位より縮小	133
d. 地域サービスの交換	135
e. イサカアワーと LETS	136
f. 中央集権制の手作業	136
g. 信用創造を伴わないか	138
h. 地域通貨のめざすもの	138
6.3 電子通貨体制への移行	143
a. お金のかかる金の採掘	143
b. 金塊からチップへ	144

vi 目 次

c. 製造コストと環境コスト	145
d. 電子マネーの原価	146
e. 安全資産としての国債	147
f. 無形の安心感	148
6.4 完全なる電子社会の姿	149
索 引	153
あ と が き	157

